



レトロな店内にはテーブル席と座敷があり、壁には信越本線の車両など懐かしい写真が飾られています。

街道ノスタルジー

ドライブイン を訪ねて

群馬県 玉屋ドライブイン

ベコベコのおなかを満たす温かい料理と気取らない雰囲気、何よりも魅力的な店主が迎えてくれるドライブインは、ドライバーのオアシスといえます。昭和の面影を残すドライブインを紹介します。

長野県と群馬県の県境・碓氷峠へ続く国道18号(旧道)沿いに、玉屋ドライブインはあります。創業は250余年前。江戸期に整備された五街道の一つ、中山道にある笏石山にあった茶店が起源とされ、明治期に信越本線熊ノ平駅近くに移り、昭和期の1963年以降に現在地へ移転しました。「1972年に軽井沢バイパスが開通するまでは交通量が多く、トラックドライバー好みのしょうが焼き定食などがよく出ました。冬は座敷にこたつがあったので仮眠する方もいましたね」とは店主の小池 昭さん。

現在は品数を減らしましたが、ソースカツ丼など食べ応えがある料理は健在です。茶店時代からの看板商品「力餅」は毎日もち米から作る餅を使い、1個ずつこしあんで包みます。その昔ふもとの安中城下から碓氷峠の熊野権現まで競走した安中藩士や、14代将軍・徳川家茂に興入れた皇女和宮も味わったと伝わる力餅は、上品な甘さで元気が出る逸品でした。



看板商品の力餅(1皿400円)。こしあんのほか、くりあん、さくらあん、ずんだの季節商品もあります。



ソースカツ丼(900円)。注文を受けてから揚げる国産豚のソースカツが3枚のっています。

玉屋ドライブイン

群馬県安中市松井田町坂本1011-1
10時～15時
火曜休(祝日の場合は営業)



店主夫妻の小池 昭さんと節子さん。



店舗の前には広い駐車場があり、トラックや観光バスも駐車できます。